

現在の江東区萬年橋。萬年橋は小名木川と隅田川の合流地点にかかっています。



深川万年橋下

(1999年発行 国際文通週間より)

現在の足立区帝都科学大学入口交差点付近。用水管理のため大きな堰枠が設けられています。



武州千住

(2011年発行 国際切手展より)

現在の台東区浅草東本願寺。明暦の大火の後、神田から現在の浅草に移転しました。



東都浅草本願寺

(2011年発行 国際切手展より)

現在の中央区日本橋。日本橋は19度架け替えられ、1911年に現在の様式になりました。



江戸日本橋

(2020年発行 国際文通週間より)

切手で ぼうけん

～切手の博物館ワークシート～

Vol. 1

切手に描かれた場所を探しにいこう！
富嶽三十六景編

切手の博物館



葛飾北斎の富嶽三十六景は1831年に西村永寿堂から刊行されました。この作品が刊行された背景には、庶民の間で隆盛していた富士山信仰がありました。当初は題の通り、三十六図でしたが、のちに好評により十図追加され、全部で四十六図となりました。

今回取り上げた図案はすべて江戸(現在の東京都)を描いたものです。切手に描かれた場所に行って富士山が見えるのか、また現在も残っているものがあるのか探してみましょう。

- - - 山折り
- - - 谷折り
- キリトリ

現在のJR山手線原宿駅付近。当時、渋谷川が流れるこの辺りは多くの田畑がありました。



隠田の水車

(1996年発行 国際文通週間より)

現在の足立区、仲町氷川神社近辺。右端にあるのは法令などを掲示する高札場です。



隅田川関屋の里

(2011年発行 国際切手展より)